

事業番号	07 04 02	事業改善シート（令和6年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	地域産業の活性化事業	部局	産業労働部	課・室	産業技術課				
		実施期間	S60 ～	E-mail	sangi @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

・地域産業の持続的な発展のため、新商品開発や効果的なPR等により、付加価値の向上とブランド力を強化していく必要がある。

・伝統的工芸品産業は、需要の減少や、後継者不足等により悪循環に陥っている。加えてR4年度に実施したリブランディング潜在力全国調査によると、県内伝統的工芸品を認知している割合は、県内認知度が26品目（全28品目中）で40%未満、県外認知度が全品目で35%未満であり、認知度が低いことが改めて浮き彫りになった。

2 事業目的

地域資源の高付加価値化や伝統的工芸品の振興を図り、地域産業の活性化を目指す。

3 事業目的を達成するための取組

- ①地域資源（伝統的工芸品を含む）の利活用企画・商品化支援
- ・地域資源製品開発支援センター（デザサボながの）において、県内中小企業が取り組む地域資源を活用した新商品開発をデザインからP Rまで支援する。
- ・伝統的工芸品産業以外の県内企業等が行う、伝統的工芸品を活用した取組や、新規ビジネスの創出及び新商品開発等の取組を支援
- ②伝統的工芸品の魅力発信
- ・伝統的工芸品への関心を高めるため、メディア等を活用して子ども、若者など年齢層を意識した情報発信を行い、ファン拡大を図る。
- ・展示販売会等イベントの企画・開催や、全国催事やクラフトフェスタへの出展支援による魅力発信。
- ・伝統的工芸品とクラフトの魅力を共同発信する場の確保や、クラフトフェスタへの出展支援により、クラフトパーソンとの交流・連携を促進。
- ③担い手の育成・後継者確保への支援
- ・講習会の開催や助成金の活用による後継者育成、インターンシップの開催等による後継者確保を支援。

4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度		R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①	地域資源（伝統的工芸品を含む）の利活用企画・商品化件数	件	－	20	-	21	↗	30	未達成	月2～3件を支援し、年間30件の支援を目標とする。
②	伝統的工芸品の魅力発信	件	61	49	↘	47	↘	35	達成	県下の伝統的工芸品1産地あたり1回以上の発信を目標とする。
③	伝統的工芸品の担い手育成・後継者確保への支援	件	106	84	↘	203	↗	110	達成	過去2年と同水準の後継者支援を実施することを踏まえ、目標値を設定。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (☆印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
2-3②	サービス産業等の活力向上	デザサボながの(地域資源製品開発支援センター)による支援件数(2023～2027年度の累計)	件		—	2023(R5)	121	2024(R6)	231	2027(R9)	450
2-3②	サービス産業等の活力向上	デザサボながの(地域資源製品開発支援センター)の支援による商品化件数(2023～2027年度の累計)	件		—	2023(R5)	9	2024(R6)	22	2027(R9)	100

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	0	50,068	△ 1,400	48,668	38,617	46,551	4.5
R5年度	0	36,917	0	36,917	26,387	31,254	4.5
R4年度	0	33,800	0	33,800	23,154	32,333	4.5

事業番号	07 04 02	事業改善シート（令和6年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	地域産業の活性化事業			部局	産業労働部	課・室	産業技術課		

7 主な取組実績と成果

①地域資源（伝統的工芸品を含む）の利活用企画・商品化支援

・地域資源製品開発支援センター（デザサボながの）において、総合プロデューサーを中心とする外部専門家等を交えた支援体制を構築し、構想企画からデザイン、販売促進、情報発信まで地域資源を生かした商品開発を一貫支援した。

（支援による商品化件数：13件）

・伝統的工芸品産業以外の県内企業等が行う、伝統的工芸品を活用した取組や、新規ビジネスの創出及び新商品開発等の取組を支援した。（8件）

②伝統的工芸品の魅力発信

・県内の高校生アイドルグループ及び県内メディアと連携し、伝統的工芸品の魅力をPR、若年層を中心としたファンの拡大を支援した。

・井上百貨店（松本市）で国・県指定産地の工芸品や職人が集まる「長野県伝統工芸品展（21産地）」を開催

・新たな消費者への魅力発信のため、エムウェーブ（長野市）で開催された信州ハンドクラフトフェスタへの出展を支援（20産地）

③担い手の育成・後継者確保への支援

・長野県手作り打上花火、木曽漆器の2産地で後継者発掘のためのインターンシップを開催

・産地の熟練職人を講師とした技術伝承講習会を7産地で開催

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	地域資源（伝統的工芸品を含む）の利活用企画・商品化件数	R5年度推移	-	R6年度推移	↗	達成状況	未達成
・コロナ禍の消費低迷期による業績悪化からの回復が不十分であることから、新商品開発の意欲が低下していると考えられ、目標件数には到達しなかったが、広報の強化や事業の認知度の向上により、前年度に比べ利活用企画・商品化件数が増加した。							
指標②	伝統的工芸品の魅力発信	R5年度推移	↘	R6年度推移	↘	達成状況	達成
・県内の高校生アイドルグループ及び県内メディアと連携し、テレビ放映7回、イベント3回に4産地が参加し魅力発信回数を確保した。							
・伝統工芸品展の開催、新たな消費者への魅力発信のため信州ハンドクラフトフェスタへの出展を支援し、目標値を達成することができた。							
指標③	伝統的工芸品の担い手育成・後継者確保への支援	R5年度推移	↘	R6年度推移	↗	達成状況	達成
・予定していた講習会をすべて開催することができた。							
・委託事業により、オンラインでのインターンシップを開催し、参加者の確保に努め、目標値を達成することができた。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

・商品開発等が一過性の取組として終わらないよう工夫し取り組んでいく必要がある。

・伝統的工芸品産業は、依然として需要減少、後継者不足及び認知度不足の課題がある。

・伝統的工芸品産業の振興においては、認知度向上のための「ひろげる取組」、後継者の確保・育成による「つなぐ取組」、消費行動を促す「のばす取組」の3本柱をベースとして総合的に支援を展開していくことが求められる。

(2) 事業改善の方策

・令和5年度末に策定した「長野県伝統的工芸品産業振興方針」に基づき、「ファンの拡大（ひろげる取組）」「後継者の確保・育成（つなぐ取組）」「売上の拡大（のばす取組）」の3本柱により、伝統的工芸品産業の抱える課題に対し、総合的に支援施策に取り組む。

・近年人気があり伝統的工芸品産業と同じ手仕事であるクラフト産業との連携促進を支援し、ファン拡大に取り組むとともに、消費者や後継者候補のさらなる開拓を継続して行う。

・増加するインバウンド需要獲得・海外展開への挑戦、将来世代への教育機会の増加に取り組む。

事業番号	07 04 02	細事業一覧（令和 6 年度実施事業分）			□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	地域産業の活性化事業			部局	産業労働部	課・室	産業技術課	

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	地域資源製品開発支援センター事業費		13,119 千円	10,751 千円	13,628 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 6 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	企画から商品化までの総合プロデュース	直接	総合プロデューサーを配置し、地域資源活用に取り組む企業に対し、企画から商品化までを支援 総合プロデューサー 1 名配置、支援件数110件		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
2	伝統的工芸品支援事業費		484 千円	244 千円	244 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 6 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	伝統的工芸品月間事業負担金	負担金	伝統的工芸品の普及、PRを図るため、伝統的工芸品月間（11月）を中心に伝産関係機関、国、県が一体となり、作り手と使い手が直接対話、交流できる場を設置 【全国大会：石川県、地区大会：東京都（負担先：伝統的工芸品産業振興協会、関東ブロック伝産・文化協議会）】 負担金により開催されるイベント：2 か所		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
3	伝統的工芸品産業地域内循環支援事業		- 千円	2,200 千円	2,354 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 6 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	県内企業等の伝統的工芸品を活用した取組を支援	補助金	伝統的工芸品の活用促進を図るため、県内企業等が取り組む、伝統的工芸品を活用した魅力発信、新規ビジネス創出等を補助 補助件数：8 件		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
4	長野県伝統的工芸品産業振興審議会運営事業		- 千円	189 千円	103 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 6 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	審議会の運営	直接	伝統的工芸品産業の振興に関する重要事項について調査審議し、産業労働行政に反映させるため、伝統的工芸品条例の規定に基づき、審議会を開催 審議会開催回数：1 回		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
5	伝統的工芸品Reブランディング支援事業		10,263 千円	9,823 千円	9,759 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	リブランディング支援	委託	伝統的工芸品の魅力を発信し浸透を図るため、イベント等を企画・開催 魅力発信回数：4回		
2	インターンシップの開催	委託	後継者の発掘を図るため、伝統的工芸品産業事業者の工房でインターンシップを開催 インターンシップ実施産地数：2産地		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
6	伝統的工芸品・クラフト連携促進事業		- 千円	- 千円	9,135 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	伝統的工芸品とクラフトとの連携促進	補助金	日本で唯一の漆工の街“木曽平沢”地区で、伝統的工芸品とクラフトの交流の機会を創出するため、県内伝統的工芸品の最大産地である木曽漆器工業協同組合が行う伝統工芸とクラフトの連携を支援 伝統工芸とクラフトの交流の場創出数：1か所		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
7	伝統的工芸品産業後継者育成・販路開拓支援事業		8,467 千円	8,047 千円	11,328 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	技術伝承講習会	委託	伝統技術・技能の継承や多様な担い手確保を図るため、伝統工芸士、卓越技能者などの熟練技能者等を講師とした技術伝承講習会を開催 （委託先：長野県中小企業団体中央会） 講習会開催回数42回		
2	新規就業者の定着促進支援	補助金	伝統的工芸品の製造に携わる新規就業者を対象として、その育成費用を助成 補助事業者数：4事業者		
3	展示販売会等開催・出展支援	委託	伝統的工芸品への関心を高めるため、長野県伝統工芸品展の開催や、信州ハンドクラフトフェスタへの出展を支援 （委託先：長野県中小企業団体中央会） 開催数：2回		